

わたしたちの町

人口(男) 4,630人 (女) 4,967人 合計 9,597人 7月中の転入 15人 転出 22人 世帯数 2,312世帯

(7月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和57年8月21日 第291号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月15日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

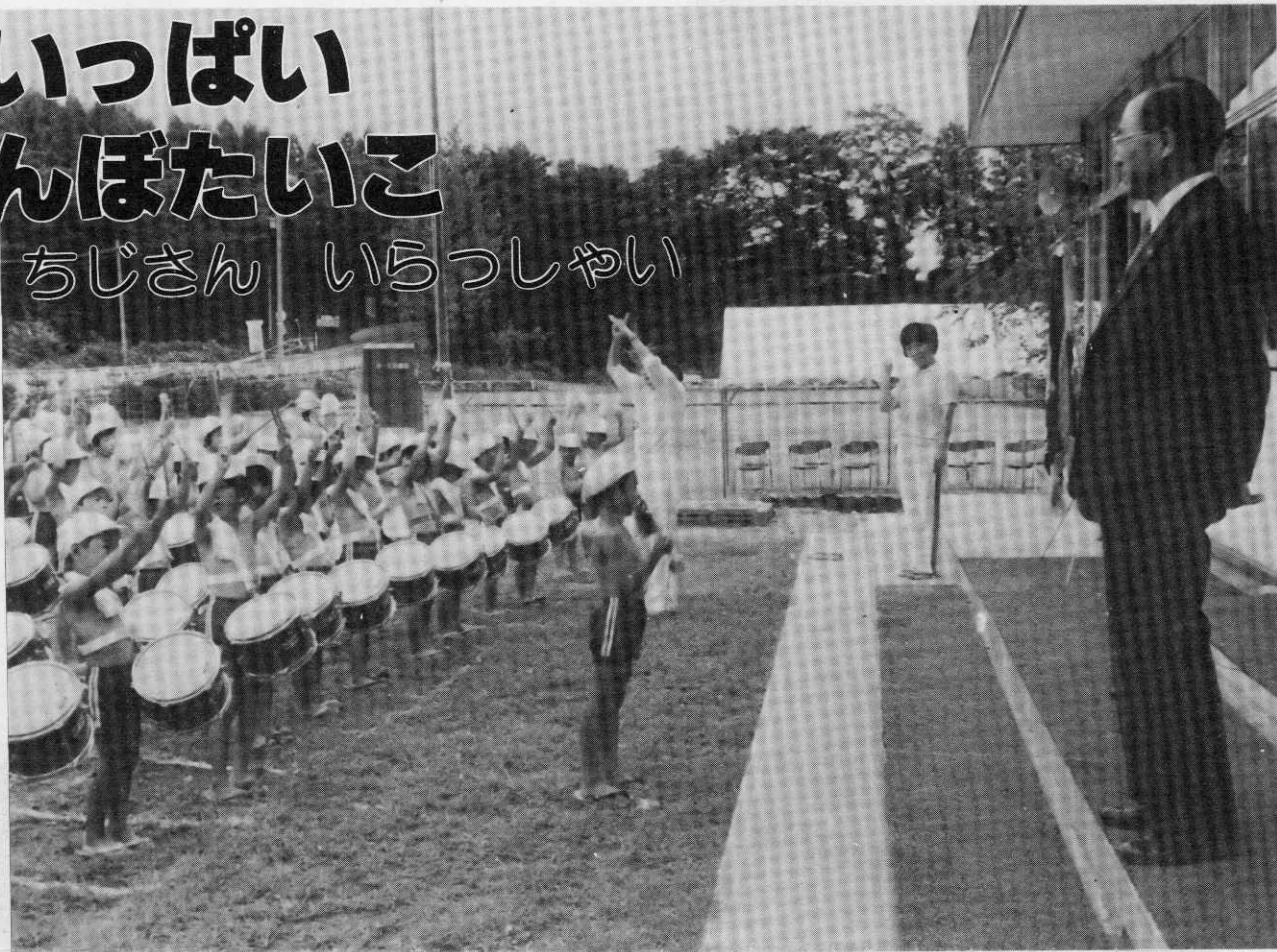
'82/8月

291号

鼓隊で歓迎

げんきいっぱい はだかんぼたいこ

ささき ちじさん いらっしやい



佐々木秋田県知事は十二日、東保育園と南地区パイパス予定地を視察しました。東保育園では、はだかんぼ保育のチビッ子たちが鼓隊演奏で歓迎。...

ひがしほいくえん

佐々木知事 大野台開発

パイパス推進を約束

役場での懇談会には、町内の各層からの代表三十名が参加。幅広い対話の中で、知事は「大野台は工業、農業、観光をふくめて大きな計画を考えていく」と約束。...

はじめに知事が県の発展計画などについて説明。「五十六年度、五十七年度はほぼ予定どおりの経済効果をおさめている。五十八年度以降は、国の財政施策もあり、厳しい情勢ではあるが、大規模事業が具体化して...

精神病院

大野台は適地

△当町に県立精神病院を誘致してほしい。 △専門機関の判断によるが、各施設をつながりなどから、大野台は適地の一つだと思ふ。 △富農大に指導、普及、研究機関を設置してほしい。 △大野台の農業開発に、大学の機能を活用する考えて、試

作展示場の設置を考えている。 △比内小森線の延長に大規模農道をつくらなければならない。 △必要性は感じており、今後の開発構想の中で考えていく。 △大野台にスポーツ施設、美術館などを建設し、青少年の研修の場として活用してほしい。 △現在、中央地区の整備をすすめており、続いて考える県北地区は大野台が中心となる。 (以上町長から要望)



県の課題・町の課題に意欲的に答える佐々木知事。

台風

「台風情報をお知らせします。台風〇〇号はしだいに勢力を増しながら...」夏から秋にかけて、台風情報がいっぱい流れるようになりま。 台風は赤道付近の南方海上で発生する熱帯低気圧の一種で、徐々に勢力を強め最大風速が十七メートル以上になったものを台風として、その年の発生した順番に番号をつけて呼んでいきます。台風の進路は刻一刻と変化します。...



長崎豪雨災害に援護の手を

日本赤十字社合川分区分では、七月末の長崎県を中心とした豪雨災害被害者への義援金を受け付けています。 八月二十五日までに、役場窓口、役場内事務局にあなたの善意をお寄せ下さい。

町長日記から

町民体育祭をやめるか、四年に一回ぐらにしたらどうか、と言う意見が町の指導層に多い。 選手を集めるのに苦労が多いことが、最大の理由のようである。 体育祭はすすんで参加する人々が多くなると、このような事態になりかねない。 実行委員会を通して、各部落体育協会ははじめ、第一線の若い人々から呼びかけたら、第二十八回の町体はひとつのチームの不参加もなく、最近も程よく充実した町民体育祭であった。(義)



# 子どもの明日を語る集い

## 家庭は深く 学校は広く 地域はたくましく

「子どもの明日を語る町民の集い」は七月二十五日、農村環境改善センターで開かれました。この集いは「子育て」にたずさわる町内の各団体が合同で、話し合おうと開かれたもので二百五十人余りが集いました。

集いでは、児童遊園地の造成など子どもの健全育成に努めた川井部落を表彰。町内四小の児童が「大人になったら」と題して作文発表。秋田県共同募金会事務局長 佐藤進氏が基調講演。五つの分科会に分かれて一人ひとりが意見を話し合いました。

主催者を代表して米倉修治さん（青少年育成町民会議代表）が「親のあり方、地域のあり方を考え、町の未来をつくる集いにしたい」とあいさつ。町長は「体得させる」という言葉の意味を、もう一度、考えてほしい」と提言。宮原忠美北秋田地区保護司会会長は「非行は年齢の低い子どもたちに広がる傾向にあり、地域ぐるみで、子育て」の方向を探ってほしい」と激励しました。

### 佐藤進先生の講演から

#### 大切な「恩」の心

子どもは大人しい、先生しい、子ども自身しいで育ち



子どもたちが大きな夢を発表。たくましく育たいと熱心に聞か

「自分はこれができる」と自信を持たせることが誇りにつながります。物を与えず、子どもの仕事をとり上げると「がまん」の心がなくなり自立と連帯の心がたたりなくなりました。

子どもたちの心、「思いやり」の心「コソコソと育て上げたいものです」

### 分科会からの提言

#### 手を離せ

#### 目を離すな

①子どもたちの自主性を高めよう  
②子どもたちの行動をしっかりとつかもう。

③責任をもたせる。例えば献立など。  
④子どもは自分で立てる。手を離せ、目を離すな。  
⑤嫁、姑、お互いに遠慮しない。子どもは使い分けの目をもってしまおう。

⑥子ども同志で遊ぶ機会をふやそう。兄弟の少ない人は特に。中学生、高校生を地域活動に参加させよう。

⑦親子会活動で子どもたちの自主性を高めよう。  
⑧計画はできるだけ子どもたちの手でたてよう。  
⑨子どもたち自身の手でやれる

### \*社会を明るくする運動入選標語\*

だれにでもほんの少しの親切を

あいさつでみんなの心を広げよう

暴力は自分の心がよわいから

さかせよう明るい声と笑顔の花を

少しだけそんな気持が非行化に

- 東小六年 船木 真琴さん
- 西小六年 伊島万里子さん
- 南小四年 福田 肇さん
- 北小六年 藤島 恵子さん
- 合中二年 疋田 小織さん

### 障害者のために 役立ちたい



東小学校 6年 木村 陽子さん

今、日本全国には何百何千と身体障害者がいます。どの人も自分が障害者であることを望んではいないと思います。望んでいるのは、たぶん私たちのように健康な体だと思っています。私はいつかテレビで、障害者の生活を見たことがあります。手も足も不自由な男の人でした。何かをするたびに顔がぐわみました。私たちがわずかの時間であることを、例えば服を着ることなども、それこそ何十分もかかってやっています。どんなに苦勞して着れるようになった

たかわかりません。本当に一生けん命に生きていくということ。私の胸に伝わってきました。そしてとても反省させられました。私たちがこの人たちのためにできることは、不自由なその人たちに接して友だちになり、困っていたら助けてあげることです。私たちが一人一人が、もしそうすることができたら、すごく喜んでくれることですよ。私たちが大人になったら、この人たちがもつと薬をできる機具を

作ってみたいと思います。足の不自由な人が乗る車も開発されています。私はそんな立派な物は作れないかもしれませんが、色々工夫して、少しでも力になってあげたいと思います。障害のある人もない人も、みんな気持ちよく生きていく世の中になりたいと思います。これは本当の夢にしかすぎないと思います。せめてその人たちに役立つようなことをしたいのです。

### 誇りに思う 私の母



西小学校 6年 伊島万里子さん

「合川町で誇れるものは何ですか？」とよその人にたずねられたら、皆さんは何と答えるでしょうか。私は「大野台の里」と答えます。大きくならたら私は母のような人になりたいと願っています。母は大野台の里の新生園で働いています。新生園の人たちの給食を作っているのです。ある時私は、母の仕事の手伝いに行つたことがあります。母は、朝の四時には起きて、六時になる前に車で新生園にむかいます。それでも、ぐち一つ

こぼさないで……。そんな母を見てみるととてもがんばり屋だと思えます。手伝いに行つた時は私にはじめ、体の不自由な人や知能が落ちていく人があるところやだやだと思いましたが、そこが私はそんなふうには思えなくなりました。なぜかというところは、ごはんを食べたあと、生徒の一人がいすや食器をかたづけしていたのです。不自由な体をけんめいに動かして。私は心から教えられたことがあります。一つは体が不自由で

もやろうと思えば手伝いなど、なんでもできるということ。もう一つは、不自由な体はもっているけれど、やさしい心はその何倍ももっているんだということ。いつもこんな心のやさしい人たちが会っていて世話などをしている人達や母はすばらしい仕事をしているなあと、しみじみ思っています。母のような心で、不自由な人々と接する仕事につき、人々にやくたつ人になりたいと思います。

### 役場に勤めて やりたいこと



南小学校 6年 福岡 亮さん

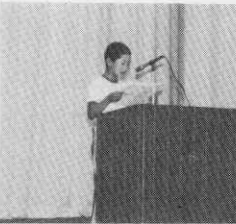
ぼくは将来、合川町の役場に勤めたいです。ぼくの住んでいる三里部落では今年に入ってから、もう二回も交通事故があつて、二件ともぼくの家のすぐ近くのカーブで起こりました。三里の下の方に農道がありました。この農道を「バイパス」と名前を直し、車を通して今の道路での交通事故をなくすことができればいいと思つたからです。勤めることができましたら第一に道路を改善したいです。

第二に老人ホームのことでテレビ等でも言われている「げんたんせいさく」と「米価」のことです。物価の上がり方を「〇」にすれば米価はだんだん安くなつてきていると言えらると思います。父の話等を聞いていてるほど米はあまつていないそうです。このような政府の考えを、わりかもしれないけれど直す方にむけていきたいと思つた。

役場に勤めることができたらい生けんめいがんばります。楽しくなり、人々の心のつながりも深まると思います。明るくて住み良い合川町にするために、今、大人のみならず一生涯けん命がんばつてくれています。ぼくたちも将来、この町をいい町にするためにしっかりと勉強してがんばろうと思います。また、大人の人からのお話をきいて、ぼくたちの夢を実現させてみたいのです。おこたわり 紙面の都合で各作文は一部略させていただきます。

### ほしいもの

#### 病院と工場と……



北小学校 6年 佐藤 宮徳さん

ぼくが大人になって、もし合川町にいたらたぶん工場と働きながら農業をやるだろうと思つています。今頃は、じん臓の病気にかかって大館病院に月一回、一年以上も通っています。午後から学校を休んで、お母さんも会社を休んでぼくを連れていってくださいます。大野台みたいな近くに総合病院があれば、どんなに助かるか知れません。ぼくが学校を卒業したとき、合川町に自分が好きな仕事があ

ればいいです。ぼくのお父さんも去年の秋ごろから、東京へ仕事をしに行きました。お父さんが家にいないと、とてもさびしいです。やっぱりお父さんは、家にいたほうが楽しいです。そのためには近くに工場や会社、その他のいろいろな仕事場がなくてはなりません。大野台にそうした建物が建つといいのですが、あんまり自然をこわされるとこまります。みんな楽しんでるスケート場やスキー場があれば、とっても

作ってみたいと思います。足の不自由な人が乗る車も開発されています。私はそんな立派な物は作れないかもしれませんが、色々工夫して、少しでも力になってあげたいと思います。障害のある人もない人も、みんな気持ちよく生きていく世の中になりたいと思います。これは本当の夢にしかすぎないと思います。せめてその人たちに役立つようなことをしたいのです。



第一十八回町民体育祭は八月一日、中学校グラウンドで開かれました。「力」と「技」を相言葉に、幼児から年寄りまでの各種目に熱戦を展開。競技の結果、総合優勝は木戸石チーム。準優勝は芹沢根田。二位以下杉梅栄。

息みには「合中太鼓」で十一個の太鼓が鳴り響き大会を盛り上げました。

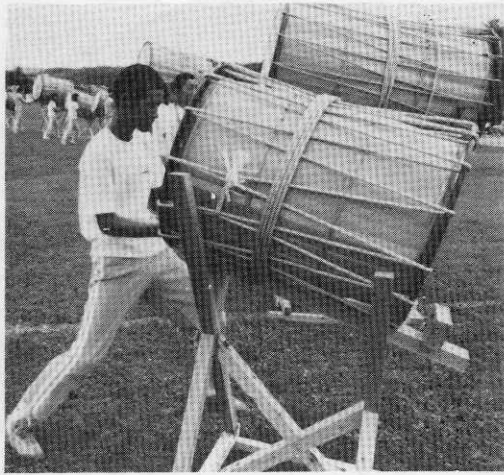


チームワークでゴールをめざす  
上=二人三脚。下=プロッククリレー

カメラ特集

熱戦・歓声・笑顔

体力づくり総参加町民体育祭



「合川魂」をふるいたたせるように合中太鼓が鳴り響く。



1,500mのスタート。大野台の里の園生が大活躍。



みよ!!日頃きたえたこの力



大会の「花」婦人会の公開演技。

政 町モニター みんなの声



摩当―本城間の道路整備を問―摩当―本城間道路について相当いたみがある。随時手入れをしてもらいたいものだと思います。(50代 男性)

来年度から舗装する予定です。

町の答―昭和五十八年度から舗装工事を施工する予定です。それまでの間、砂利等を入れて道路補修を実施します。

誘致企業の研修生のようすを知らせて下さい。

問―三月定例会で誘致企業の研修社員のごとで話し合われ

ていました。町と家族のためにがんばっている研修社員を、気にとめて下さることに感謝し、時々、会社のような辛さを感じていただければ幸いです。(60代 女性)

町の答―心配されるお気持ちに察し申し上げます。研修生については会社はもちろんです。来年度から心配し連絡をとり合っています。各企業では町に現地連絡員を配置しておりますので今後も家族、会社、研修生との対話に努めていきます。

障害に負けずに

体力づくり

第三回福祉運動会

第三回合川町身体障害者福祉運動会は七月三十日、大野台ハイランド広場で開かれました。大会は、身体障害者チーム、グリーンハウスチーム、エコーハウスチーム、福祉担当職員チーム、来賓チームの五チームの対抗戦。水ため競争、パン食い競争、ゲートボールなど十種目で熱戦をくり広げました。

この大会は障害者・施設入所者と町内関係者の交流をめざして開かれているもので、回を重ねるごとににぎわいが増しています。ひとりひとりが全力を出し合う競技風景に、声援と歓声が飛びかかっていました。



水ためりレー。障害に負けないで全力プレー!

全県高校農業クラブで

ハイランドに花壇づくり

高校農業クラブ秋田県連盟では、七月三十日から三日間、大野台ハイランドで夏期研修会を開きました。

県内各校から百名余りが参加。菅野大学校視察、中国研修生との交流、畠山町長を交えての語り合いなど忙しい日程の中で、花壇の造成と周辺の除草を行いました。

夏休みに入って、大野台ハイランドは、連日、家族連れや子供たちのキャンプ・研修でにぎわっています。

おしらせコーナー

町のこよみ

(行事予定)

- 八月 20日 22日全県青年体育文化祭 (会場 合川町他)
- 21日 大野台の里運動会
- 21日 国立市児童来町
- 22日 健康まつり
- 22日 職場親善バレーボール大会
- 22日 三百六十歳ソフトボール大会
- 29日 県の記念日
- 30日 町内小学校水泳大会(北小)
- 九月 5日 民謡民舞同好会発表会
- 10日 ことぶき大会
- 15日 敬老の日
- 17日 町敬老会

年金 福祉年金 証書の提出

福祉年金を受けている人は、次のとおり「国民年金証書」を提出してください。

八月二十一日 午前九時～午後十二時 木戸石児童館 北地区

二十三日 午前九時～午後三時 役場第一相談室 東地区

南・西地区の人で提出していない人も、忘れずに提出してください。

福祉年金では毎年一回、受給者本人やその家族の所得を確認し、それによって支給金額等を決定します。恩給、扶助料、厚生年金も同時に受けている人や新たに公的年金を受けた人は、その証書や年金額改定通知書を同時に提出してください。くわしくは役場福祉課に問い合わせください。

軽減されます 不動産取得税

土地や家屋を取得したときにかかる不動産取得税は次のように軽減されます。

- (一) 住宅を建築した場合  
床面積が百六十五平方メートル以下(既存部分を含む)の住宅で、一平方メートル以下の評価額が十萬九千円以下のものを取得した場合は評価額から四百二十万円が控除されます。
- (二) 住宅用土地を取得した場合  
土地を取得してから二年以内に住宅を新築した場合、または土地を取得した日以前一年以内に住宅を新築していた場合は税額の四分の一が軽減されます。さらにその住宅が(一)に該当する場合は税額から四萬五千円が軽減されます。

税の相談

秋田税務相談室(秋田南税務署内) 電話〇一八八―三三―三〇四四

巡回相談日(毎日二十五日) 大館市役所第一会議室、休日の場合は翌日。税のことは何でもお気軽に相談ください。

募集 婦人生活 記録文

県では婦人の生活作文を募集しています。これは婦人の生活体験を残し将来に伝えようというもので、明治から昭和五十年頃までの生活記録であれば内容が自由です。

その他、日記、絵、写真、家訓などの資料についても協力を呼びかけています。

作品等の中から県で発行する「秋田県婦人生活史」に掲載するものです。気軽に応募ください。

応募、問い合わせは県庁青少年婦人課、町公民館または各婦人会役員にお願いします。

募集 交通安全作品

題目 標語・作文・ポスター

部門 小学校一、二、三年の部  
小学校四、五、六年の部  
中学生の部  
高校、大学、一般の部

規格 字数などくわしい内容は役場総務課におたずねください。締切 九月十五日

送付先 秋田県庁交通安全対策課

協力ください!! 身元不明者捜し

警察では身元不明者の捜しを受けて、行方捜しと保護にあたっています。森吉署管内では現在八名の捜索依頼があり、全国的に年々増加しています。また、自殺などによる身元のわからない死体もふえています。

森吉署内には、こうした全国の行方不明者、身元不明死体の資料を備えつけ「家出人を捜す相談所」を開いています。心あたりの方は、ぜひお訪ねください。

中国敦煌壁画展 8月5日～ 秋田市文化会館

シルクロードの文化を伝える63点の壁画・塑像を展示。世界でも貴重な文化遺産の数々をお確かめください。

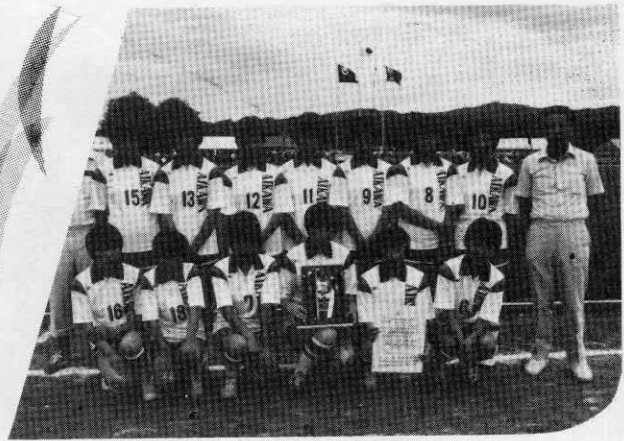
役場総務課・農村環境改善センター窓口にあります。前売券 一般 650円

休館日 火曜日



### 合中女子バスケット大活躍

## 全県大会二位に



中学校都市大会で優勝した合中中学校女子バスケットボールチームは七月十七日から全県

大会で三位入賞を果たしました。県大会一回戦は十和田中と対戦。二点差の接戦を勝ち抜き二

回戦檜山中にも勝利。準々決勝では二ツ井中と対戦し、終始リードを許さず苦しい戦い。しかし終了寸前に逆転のゴール。準決勝大曲中戦で取れたものの、全県三位のすばらしい成績を残しました。

苦戦をがんばりぬいた合中バスケットチームに全町民の大きな拍手。(町民体育祭奨励賞授与)

## わが家のわたしの宝もの

12

キノコ研究誌『鷹巣阿仁のキノコ』を第7集まで発行。「趣味は、ひたすらキノコばかり。撮影した写真のヤマが私の宝物です」と語る細田さん(鷹巣高校教諭)をお訪ねしました。「大野台でアマタケ(ジャンボキノコ)を採り歩き、そこで見知らぬキノコを本などで調べているうちに楽しくなりました。今では採ることよりも写真を撮ることのほうが楽しみです。県内にあるキノコは、3,000種ぐらいのこと。研究誌には380枚の写真が収められ、



李 岱 細田修一郎さん

明春には第8集の発行をめざしています。「学名のないキノコも多く、幻のキノコ、と言われる珍種と出会った時は踊りたくなるような気持ちになります。」今までに出会った幻のキノコは?「タマチヨレイタケ=発表されている観察者は10人もいません。根の下に玉があり、玉がある限りはえてきます。チヨレイタケ=ぶう状の玉(菌核)がついていてこれもたいへん珍しい

ものです。森吉山のフナ林には冬虫夏草(サナギタケ)がたくさん見つかります。中国では霊薬だと聞きます。」キノコ好きの細田さんをたよって訪れるキノコ採りも多いとのこと。「毒キノコと食用キノコを見わける完全なコツはありません。毒キノコをしっかりと覚えて、食べないことが大切だと思います。」一般の人に知られていないおいしいキノコも多いと言います。「杉林にはえるスギエダタケ。スギカノカと違うもので、たいへんおいしいキノコ。近くにあります。仲間同志では「秋田のキノコ」として宣伝したいと話合っています。それとコガネタケ。黄色い粉につつまれて道路のそばなどにあります。」「キノコの採取と研究の会を開けたらと思っています。趣味と実益をかねて。県南では盛んです。豊かな自然を楽しむキノコ仲間との交遊も年々広がっているそうです。

### キノコを撮ると

## 尽きせぬ魅惑の世界



20

公民館では「親子読書」を呼びかけていますが、夏休み、二組の親子感想文を寄せたいただきました。作文にするのはなかなかたいへんですが、親子の会話のつもりで書いてみてくださいます。本の楽しさが、子どもたちの心を揺り動かすことでしよう。

「あめだま」を読んだ

わたしと妹のような

南小学校三年

福岡 有希子さん (三里)

この文に出てくるお母さんと、二人の子どものきょうだいは、わたしと妹のようです。どうしてかと言うと、何でも物が一つよりない時は、このようにお母



さんをこまらせるのです。でもこの文では、「こわそうなおおむらいさんがかたなをぬいて、「あめだまをだせ」と言ったのは二人にかけてあげるためだったので

### 理想の父親像

お母さん 史恵さん

黒いひげをはやした強そうな武士が、いぬむりをしていた姿を見て笑ったことは、子供達の素直な気持ちが出ていてかわいいですね。我慢出来ずにあめだまを食べたい一心でお母さんにだだをこねてこまらせる様子などは、どこか家庭でも見られる親

### みんなてつくる

## 心の手をつなげよう

### だれとでも

東小学校四年 松橋 恵さん

### 福祉の町

子の深いつながりを感じました。しかしその為に、鋭い刀を出してこわそうなお口調で言われた時は、ほんとうにびくびくしたものでしよう。きっと……私もお母さんと同じ気持ちであつたかも知れません。武士であるがゆえに、強い表現でしたが内心は、父親らしい愛情を出そうとしたのかも知れませんね。その証拠には、おいしいあめだまを二人に分けてくれたんですもの。よかったですね。最後に、この物語から、無言でありながらも温みのある男の雄大な姿を、理想の父親像として教えてくれたような深い感銘を受けました。

### 「泣いた赤おに」を読んだ

### 心のやさしい

おにさん

西小学校二年 成田文子さん (李岱)

赤おにさんは、心のやさしいおに。それに青おにさんと、友だちどうしで、心がどちらもやさしいんだから。赤おにさんか青おにさんがまねしたんじゃないかなあ。

### 大きな心

### 感動

お母さん 千鶴子さん

人間は誰でも自分を高めたい高めようという意識と、自分がないものを他に求めようという意識が常にあるものだと思います。今の経済社会も、文明社会も機械と共に進むことに夢中になって、かえりみることをしばし忘れてしまう。もし、かえりみる余裕のなかに、「心」。「愛」がみえていたならば、赤おにを心から思っている青おにの友情に、気がついていただであらう。青おににお別れもなかったと思います。人間が人間を万物の霊長と思ひ込み、人間以外の物を認めようとしなかった故の悲しさもあるような……すまないと感じながらも人間と仲よしになりたい欲望が強く、青おにの「論より証拠」だからという態度に引っぱられてしまった赤おに。人間と仲よしになりたい一心の赤おにさんを責めるのではない。青おにさんの大きな大きな心に打たれてしまったのです。そして、これはいつも自分たちのまわりにあるような話……(写真：右「文子さん、左「お母さん」)

### 交通安全のしおり

金田二郎さんが寄贈

町内の小中学生に交通安全を呼びかける「しおり」が贈られました。このしおりは金田二郎さん(西根田)が寄贈したものです。金田さんは一昨年、交通安全賞「緑十字銅章」を受章。町安全協会の副支部長として献身的に活動を続けており、特に南地区では交通安全のおじさんとして感謝されています。今回のしおりは「受章のお礼」と金田氏が自費でつくったもので、生徒や父兄からたいへん喜ばれています。

### 善意のご寄付

(敬称略)

- 〔香典返しにかえて〕
- 佐藤太一郎 川井(故父) 七助
- 平川礼助 李岱(故三男) 富悦
- 正田佐一郎 上杉(故母) エ
- 後藤スエ 下杉(故長男) 安男
- 正田ヨシ 上杉(故夫) 金吉
- 鈴木富悦 新田目(故母) トミエ
- 金田由蔵 摩当(故母) フヨ
- 〔一般寄付〕
- 秋田大学影絵サークル 代表松岡浩幸
- 町内小学校訪問で受けた謝意金額を寄せられました。
- 〔広報郵送料として〕
- 秋田市横森四一 成田久満
- 秋田市広面種の下 成田織治

### 慶弔だより

1月届

- お誕生おめでとうございます
- 宇津宮奈津子 隆司長女 駅前
- 正田俊昭 俊一 三男 上杉
- 白渡恭平 久 長男 八幡岱
- 杉沢茂利 茂秋 二男 増沢
- 松岡彩子 寿 長女 羽根山
- 米倉孝輔 芳孝 三男 上杉
- 桜田大作 博 二男 東根田
- 村形聡子 行雄 長女 川井
- 木村友子 繁美 長女 李岱
- 金田幸美 咲美 三女 西根田
- 謹んでお祝い申し上げます
- 正田金吉 本人
- 後藤安男 本人
- 正田リエ 佐一郎母
- 佐藤七助 本人
- 金田フヨ 由蔵母
- 平川富悦 礼助三男
- 鈴木トミエ 富悦母
- 小林アサ 寛蔵母
- 福岡光雄 与太郎長男
- 三里